グローバル EHS - 単独作業員基準

管理情報

管理項目	詳細
文書番号	2W4373RQWREN-1568922467-321
改訂	0
改訂日	2023 年 10 月 27 日
ECN 番号	001049012
翻訳版文書	英語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、マレー語

© 2023 Micron Technology, Inc. 不許複製。

Micron Confidential

目次

1 目的 3
2 適用範囲 3
3 役割と責任 3
4 用語と定義 4
5 参考文献 4
6 基準 5
6.1 作業手順の法的要件または標準要件 5
6.2 タスク評価 5
6.3 連絡手段 6
6.4 トレーニング 6
7 付録 7
8 文書管理 7
9 改訂履歴 8

表

図表の項目はなし。

図目次

図表の項目はなし。

© 2023 Micron Technology, Inc. 不許複製。

Micron Confidential

1 目的

従業員が単独で、特に人員が常駐していないエリアで一定の仕事を行う際には、自社の従業員、請負業者、ベンダーの健康と安全に対するリスクが高まる恐れがあることを、Micron は認めています。本書では、単独作業員の安全を確保するために評価する必要がある状況と場所、および、単独作業員が支援を必要とする場合に利用できる連絡手段を確保するために講じる必要がある措置について規定しています。

2 適用範囲

項目	詳細
影響を受ける現場	全 Micron サイト
対象者	Micron チームメンバーおよびその請負業者/ベンダー
適用範囲	本書は、作業員が他の作業員から隔絶された状態で、厳重または直接的な監督を受けず、担当の仕事を遂行する場合、および、遂行されている仕事が潜在的な危険をはらんでいるか、または潜在的に危険な環境で遂行されている場合に適用される。 一般的にコンピューターインターフェース作業が行われる事務所/作業スペース、人員が 24 時間常駐している製造/生産フロア、作業場所につながっているスペースに対しては、本書は適用されない。仕事の遂行方法、および安全対策を仕事の遂行時に講じる方法に対しては、本書は適用されない。

3 役割と責任

役割	責任
グローバル EHS	• 作業員が、他の作業員から隔絶された状態で作業することを義務付けられており、厳重または直接的な監督を受けていない場合を評価するための要件を定義する • 本基準のレビューと更新を 2 年に 1 回または必要に応じて実施する • 全ての関係者から適切なインプットを確実に得る • 承認プロセスを開始する
サイト EHS/安全マネージャー、Micron チームメンバー、ホスト	• 本基準に定める要件を確実に順守する。 • 本基準に定める要件に従って、サイトの安全手順のレビュー、更新、作成を行う。 • 本基準の要件と後続の変更内容を見直し、要件の効果的な実施を徹底させるための対応策を明確にする。 • 少なくとも 3 年に 1 回、またはそれ以上（不適合のリスクが存在する場合など）の頻度で、本基準の更新された要件に対する継続的な適合性を評価し、適合性評価の過程で特定された欠陥を修正するための措置を実施する。

© 2023 Micron Technology, Inc. 不許複製。

4 用語と定義

用語	定義
CDA	圧縮乾燥空気
CUP	中央ユーティリティプラント
EHS	環境・衛生・安全
JHA	**作業危険性分析** 作業によって事故が発生する前に、危険を特定する方法として作業に注目した手法。JHA では、作業員、作業、工具、および作業環境との関係に着目する。特定された危険は排除または管理できる。
単独作業員	他の作業員から隔離された状態で厳重または直接的な監督を受けずに遂行すべき活動を実行する作業員。 また、必要なときに支援をすぐには受けられない状況（例：遠隔地[1]、定期的な人の出入りがない[2]、通常は人がいない領域[3]）にある作業現場で 1 名の作業員が単独で作業する場合、その作業員も単独作業員と見なされる。
PM	**予防保全** 予防保全（例：オイル点検、O リングの交換）は、機械や設備が設計通りに動作することを保証するためのもの、予定した間隔で実施される。
RA	**リスクアセスメント** 設計、使用、インシデント、アクシデント、危害に関する知識および経験をもって、対象設備の特定のシナリオに関するリスクを測定する手順。リスク評価には、機器の限界値の決定、ハザードの特定、リスク算定が含まれる。
SOP	**標準作業手順** プロセスの操作に関する包括的な一連の指示。詳細な操作パラメーターと、すべてのプロセスモード（例えば、スタートアップ、通常運転、シャットダウン）での安全な操作の制限について、明確に理解させる。
作業員	仕事を遂行する人物で、Micron チームメンバーや請負業者/ベンダーが含まれる。

5 参考文献

内部参考資料	リンク
無	無

外部参考資料	リンク
無	無

[1] 遠隔地:メインサイトから離れて、監視されておらず、応答が遅い勤務地。

[2] 定期的な人の出入りがない:通常は他の作業員がおらず、他の作業員が 30 分以上の間その区域を通過することがない。

[3] 通常は人がいる領域:他の作業員の目や耳に入る範囲内で通常、作業をする領域

© 2023 Micron Technology, Inc. 不許複製。

Micron Confidential

6 基準

チームメンバーが単独で、特に人員が常駐していない可能性のあるエリアで一定の仕事を行う際には、自社の従業員、請負業者、ベンダーの健康と安全に対するリスクが高まる恐れがあることを、Micron は認めています。以下は、仕事にリソースを割り当てる際に考慮すべき基準です。

6.1 作業手順の法的要件または標準要件

地域の法的要件、SOP 業務、RA または JHA により、対象業務の完遂に少なくとも 2 名の作業員が必要な場合、当該要件を常に満たさなければなりません。

業務の完遂に 2 名の作業員が必要な場合の例には以下が含まれます（ただしこれらに限定されません）。

- 装置の PM 作業
- 電圧が 50V を超える通電部の作業
- 床開口作業、または閉鎖空間での作業
- 落下防止策が必要な活動
- 送気を必要とする状況での作業
- 隔離された場所で重機や設備の操作を伴う作業
- 1 ガロン（3.79 リットル）以上の容器から腐食性の強いまたは毒性の強い液体の移送
- 腐食性、高毒性、または可燃性のガスまたは液体が含まれている化学薬品供給/廃棄/排出ラインを開放する作業（ガスボンベの交換を含む）
- 加圧腐食性または高毒性のガスまたは液体を含むキャビネットまたは筐体を開く
- 蒸気、大型チラー、加圧 CDA（100 psi 以上）など、高温、高圧、または窒息する危険性のあるシステムでの作業による物理的危害への暴露
- 人間工学上の危険がある作業（例：50 ポンド（22kg）以上の重いものを持ち上げる）

6.2 タスク評価

チームメンバーとホストは、単独で行う作業の危険性を評価する際に細心の注意を払うことが求められます。タスク評価はリスクアセスメントを通じて行うものとします。作業員が単独で作業を行う際に重大な危険にさらされる場合は、その作業を支援するために作業員の追加を手配する必要があります。

下記の場所や状況において実行される作業については、単独での作業が許容されるかどうかを見極めるために、リスクアセスメントを実施する必要があります。

- ガスパッド
- 製造または生産支援区域（例：サブファブ、メザニン、プレナム）
- 施設支援区域（例：チラールーム、CDA 室、補助発電室または電気室、水・廃水処理区域、スクラバー/スタックエリア）
- 液体/気体のケミカルストレージルーム
- 危険エネルギーの管理(CoHE)に関連した作業
- トレンチ/掘削作業

© 2023 Micron Technology, Inc. 不許複製。

Micron Confidential

Micron Confidential

- クレーン/巻き上げ作業（クレーン車）
- 実験室
- 廃棄物処理
- ドック、マテリアルハンドリング区域
- サイトのセキュリティ巡回

6.3 連絡手段

作業が単独作業員によって遂行される場合、その作業員と定期的に連絡を取れるように手配しておく必要があります。これは、中央制御室または保安室、これらのスーパーバイザー、もしくは、連絡窓口に指定されたその他の人員とともに行われる場合があります。作業を開始する前に次のことを実施してください。

- タスク評価の結果を踏まえて、作業の実行期間と連絡頻度を設定する
- その作業が実施される区域の所有者に連絡する

作業員が窮地に陥った場合に必要な支援を受けられるように、適切な連絡方法を使用可能な状態にしておくべきです。許容可能な連絡方法は次のとおりです。

- 単独作業員用装置または自動警告装置（例：パニックアラーム、一定時間の動作がなければ作動する無動作アラーム、自動救難管理システム）
- 携帯電話、固定電話、無線送信装置（例：作業員が支援を求めるために連絡できる、あるいは定期的に連絡を受けることができる装置）
- 管理された定期的なチェック（例：定期的な対面での確認、遠隔監視カメラでのモニタ）

6.4 トレーニング

単独作業員は全員、十分なトレーニングを受けており、以下を実行できるだけの有能な人員でなければなりません。

- 各自の仕事の完遂
- 潜在的危険と講じるべき事後安全対策の理解
- 非常時への対応

トレーニング内容はすべて必ず文書化してください。

© 2023 Micron Technology, Inc. 不許複製。

Micron Confidential

7 付録

無

8 文書管理

項目	詳細
ECN 施設	コーポレート環境衛生安全部（EHS）
ECN 領域	EHS 全般
承認	本文書は以下によって承認される。 GLOBAL_EHS_SEAL_LT
通知	本文書に対する変更通知は、以下のとおり Micron エンジニアリング変更通知（ECN）プロセスを通じて管理される。 • GLOBAL_EHS • GLOBAL_EHS_MANAGERS • GLOBAL_EHS_TEAM_MEMBERS • GLOBAL_FAC_NOTIFY • GLOBAL_FAC_MANAGER • KEG_PROBE • TSE_KEG_MOD • TSE_KEG_COK_INTERFACE • TSE_KEG_SSD • TSE_KEG_BURNATE • TSE_TEE_INTEGRATION • SIGDOC_GLOBAL_EHS_NTF • PDE_EQUIPMENT
レビュー	本文書は、少なくとも隔年（2 年に 1 回）グローバル EHS/PSM により、定期文書レビュー（PDR）プロセスを通じて見直される。

© 2023 Micron Technology, Inc. 不許複製。

9 改訂履歴

改訂	日付	説明	要求者
0	2020 年 2 月 19 日	**ECN 番号：**001049012 初回公開バージョン	HEATHERC
0	2022 年 1 月 6 日	**ECN 番号：**ワークフローなし 定期文書レビュー（PDR）完了。文法的なマイナーチェンジを行いました。	HEATHERC
0	2023 年 10 月 27 日	**ECN 番号：**ワークフローなし 定期文書レビュー（PDR）完了。変更の必要なし	JIEHUILIM

以上

© 2023 Micron Technology, Inc. 不許複製。